

学会彙報、奥付

雑誌名	漢文學會々報
巻	21
ページ	45-50
発行年	1962-05-25
URL	http://hdl.handle.net/2241/00148551

学会彙報

合法的な過程にあるとする信念である。あらゆる事物に、個々には運動の根本的原理としての「矛盾」を内包し、相互には「相反相成」の關係にあつて、更に高次の運動体を構成する。このような相対的世界観は、直接には近代科学が発見した自然界の法則性によつて確信づけられたものであり、また遠くは中国古代の形而上学的世界との類似性へと我々の想像をいざなうものである。

禅思想史研究……………佐々木和夫

仁齋学研究……………福島 剛

故松雲堂主人野田文之助翁の世業を継ぐ嗣子義太郎氏には、今般故人の遺志による金一封を本漢文学会に寄附せられました。吾々は、この義心を最も有意義に記念したいと思います。

因に翁は先般業界初めての黄綬褒章を授けられ吾々にも親しみ深い斯界の長老でした。茲に一同深く謝意を表し、併せて故人の冥福を祈りたいと存じます。

○昭和三十六年度漢文学会総会

〔漢文教育研究会〕 六月廿四日(土) 於都立北野高校

一、研究授業

三年Bコース

二年Qコース

実施者 長谷川節三氏

市木武雄氏

一、研究会第一部

(イ) 開会の辞

(ロ) 当番校挨拶

〃

(ハ) 質疑討論

〃

一、研究会第二部

〔新指導要領の問題点〕

(イ) 報告者

(ロ) 質疑討論

(ハ) 閉会の辞

〃

〔研究発表会〕 六月廿五日(日)

一、史記正義佚文の来源と真偽

一、政權授受の方式よりみたる孟子の政治思想

司会 志賀委員

北野高校長 新井迪之氏

同校国語主任 乙部譲爾氏

実施者 阿氏説明

司会 鈴木委員

上原好一氏

鎌田委員

内野委員

於東京教育大学

司会 鈴木、今井両委員

大学院 清水

大学院 高橋 均君

一、居延漢簡に関する一考察 大学院 田中 有君

一、現行本易緯と易緯佚文とについて 町田高 中村璋八氏

一、毛沢東の知識人論 化学工業高 木村郁二郎氏

一、「補江総白猿伝」の成立年代について 新瀧高 内山知也氏

一、唐詩における自然について 東京大学 前野直彬氏

〔総会〕

一、開会の辭 司会 牛島委員

一、報告並に議事

1、議長選出(上原好一氏)

2、各部報告

(イ) 庶務部 安居委員

(ロ) 研究部(一) 月例会につき 鈴木委員

(ハ) 研究部(二) 学会報につき 今井委員

3、議事

(イ) 昭和三十五年度取支決算 牛島委員

(ロ) 昭和三十六年度予算 牛島委員

一、「意見書」についての報告 志賀委員

一、その他

一、閉会の辭 内野委員長

〔懇親会〕

司会 緒形委員

○昭和三十六年度月例会(毎月第一土曜、午後一時半)

一、五月例会(五月廿日)

史記と太平記 大学院 清水 栄君

一、七月例会(七月八日)

一、六朝の遊仙詩について 大学院 沼口 勝君

一、十月例会(十月七日) 書評、藤堂明保著「中国語音韻論」 志村高 望月真澄氏

滄浪詩話の問題点について 日大三高 横山伊勢雄氏

一、十一月例会(十一月四日) 六朝志怪の民話性について 大学院 高橋 稔君

文学史における「進歩」について 教育大学 鈴木修次氏

一、二月例会(二月三日) 中国古代人の世界観について 教育大学 安居香山氏

詩経の頌について 実践女子大付高 巨勢 進氏

○昭和三十七年度漢文学関係講義一覽

(一) 一般教育科目 漢文学講読 (文学)

内野教授 鎌田教授 (思想)

(二) 外国語 牛島助教授 中国語 (文法)

北浦講師 (講読)

長谷川講師 (読本)

陳 講師 (作文)

志村講師 (会話)

藤堂講師 (読本)

藤堂講師 (講読)

藤堂講師 (上級)

(三) 専門科目

内野教授

中国思想史

小林教授

中国思想史演習(論語)

鎌田教授

中国哲学概論並特講

河野教授

中国思想史演習(中庸)

牛島助教

中国思想史演習(老荘)

鈴木助教

中国思想史演習(懐風藻)

河野教授

中国言語学特講

牛島助教

中国言語学講読(史記の文法)

鈴木助教

中国言語学演習(紅大院)

鈴木助教

中国文学概論(唐)

鈴木助教

中国文学演習(李白)

鈴木助教

中国文学演習(魯迅)

陳 講師

中国語学演習

前野 講師

中国文学史(宋以後)

米山 講師

書誌学(漢籍)

月洞 講師

毛詩鄭箋講読

(四) 大学院科目

内野教授

金石資料講読

小林教授

王注老子講読

鎌田教授

公羊伝注疏講読

牛島助教

中国古代語法

鈴木助教

唐詩の綜合的研究

○学位受領者(本研究室出身者関係)

一、原始道教の思想史的研究

—特に煉養服食道教思想の關聯において—

昭三六、三、三一

(駒沢大学) 石島快隆氏

一、原始儒教に於ける道徳思想の研究

昭三六、七、二七

(東洋大学) 市川木太郎氏

一、左伝の成立とその展開

昭三六、二、一五

(東京教育大学) 鎌田 正氏

一、宋代三易図学の研究

昭三六、二、一五

(東京教育大学) 今井宇三郎氏

一、漢易の研究

昭三六、二、二六

(東洋大学) 小沢文四郎氏

一、江戸時代の詩風及び詩論の研究

昭三七、三、五

(東京教育大学) 松下 忠氏

一、漢詩文引用より見た万葉集及び源氏物語の研究

昭三七、三、五

(東京教育大学) 古沢未知男氏

一、敦煌本郭象注莊子南華真經之研究

昭三七、三、三一

(東北大学) 寺岡竜倉氏

一、史記会注考証校補

昭三七、三、三一

(東京教育大学) 水沢利忠氏

一、魏晉経書解釈の研究

(京都大学)

加賀栄治氏

○東京教育大學漢文學會々則

- 一、本会は東京教育大學漢文学会と称し、事務所を東京教育大學漢文学研究室に置く。
- 二、本会は漢文学及び漢文教育の研究と普及とを図るのが目的である。
- 三、本会の会員は左の通りである。
 - 1 東京教育大學漢文学及び東京文理科大学、東京高等師範学校の漢文学関係教育（退官者を含む）
 - 2 東京教育大學漢文学専攻学生及び卒業生、並に東京文理科大学漢文学専攻卒業生
 - 3 その他入会を希望する者
- 四、本会の主な事業は左の通りである。
 - 1 総会 年一回
 - 2 例会 年約七回
 - 3 会報及び会員名簿の発行
 - 4 その他必要な事項
- 五、本会の役員は左の通りである。

委員長 一名
委員 若干名
- 六、委員長は本会を代表し委員とともに運営に当る。

委員は委員会を組織し会の研究会計庶務を分担する。
- 七、委員長は委員の互選による。

委員は東京教育大學学生中から五名、その他から若干名（一般会員より四名、及び東京教育大學助手）を委員の互選（学生委員は学生の互選）によって選挙する。その任期は二年（学生委員は一年）とする。但し重任は差し支えない。
- 八、会員は会費年額四百円、（但し学生は半額）を納める。
- 九、本会会則の変更は委員会を審議を経て総会出席者の過半数の承認を得なければならない。

後記

○昨年に引き続き、今年も会報を発行することのできたのは、会員諸氏の各面よりする御協力の賜物である。今後益々学会発展のため御協力をお願いしたい。

○今年は幸にして、東京都内で印刷することができ、万事好都合であった。殊に正字が自由に使えてうれしい。発行期日も厳守してくれました。ここに深甚の謝意を表します。

（今井・志賀）

漢文學會々報第廿一號

昭和三十七年五月二十日 印刷
昭和三十七年五月廿五日 発行

（非売品）

編輯者

東京教育大學漢文學會

代表者 内野 熊 一 郎

印刷所

東京都千代田区神田神保町三ノ一〇

株式會社 共立社印刷所

東京都文京区大塚窪町二四

發行所

東京教育大學漢文學會

振替東京四七六〇〇番

中国関係図書専門店

山本書店

東京都千代田区神保町二の七
(電話) 九〇三八三四七
(331) 九三三〇七七
振替 東京五九九五〇

中国原書・中国関係洋書の
御用命は

極東書店

本社 東京都千代田区神田神保町二の二
(振替) 東京一〇〇〇九(電) 六四三二七
大阪市北区永楽町三三(312) 〇三二四
京都市上京区河原町通り籠神口下ル
(振替) 京都五八二九(電) (23) 二〇九三

営業所

中国図書・中国関係書

専門取扱

株式会社 大安

報 月 1年 450円
東京都千代田区神田神保町二の一四
電話 (三三三) 四四七〇
大阪市北区老松町三の一二 日新ビル
京都市中京区河原町通竹屋町下ル西側

和漢古書籍売買

松雲堂

東京都千代田区神保町三ノ一
電話 (331) 六四九八

38年度用新版

大修館の教科書

新制

高等漢文

古典乙I用

1冊本A5判 178ページ

2冊本 上 94/下 90

諸橋徹次・中西 清・鎌田 正・
尼関富太郎・大木春基・鈴木修次
東京神田錦町3 大修館書店

・実物見本進呈・

高等学校 国語教科書 完成

教科書界随一の執筆陣！
新感覚を生かした編集！
完璧な指導用資料完成！

国語 011 現代国語

古典 021 新選古文一(古典乙I)

古典 022 新選漢文一(古典乙I)

古典 029 新選古典一(古典甲)

175 尚学 尚学図書 東京・神田
二ッ 橋

論語集注

上、下二冊 函入
定価 二一四〇円

影瑣川呉氏仿宋刊本(返点付)

日本に於て論語を教科書に用いる場合、唐本の風格を存し、尚且返点のあるものを最適と考ふる。論語集注の善本として知られてゐる呉志忠校刊本に返点を付し之を影印したものを出版する所以はここに於るのである。これによつて、唐本にも親しめしかも読み易いという利点の外に、鉛印のものに較べれば遙かに文字が大きく、その鮮明さは比較にならないので、現在使用できる教科書としては、右に出るものはないと信ずる。是非御採用を願ひたい。

なお、返点は指導者の便をはかり、集注を解釈した四書輯疏によつた。

道教の基礎的研究 福井康順 著
A5判洋一冊 一、〇〇〇円

東洋思想史研究 福井康順 著
A5判洋一冊 一、〇〇〇円

今西博士朝鮮関係文献目録 原三七編 美濃版袋
油印洋一冊 一、〇〇〇円

荀子思想論考 藤井専英 著
A5版洋一冊 一、〇〇〇円

中国脚色研究史上の一断面 原三七 著
B5版洋一冊 一、〇〇〇円

姚梅伯と王静安

発行所

東京都文京区湯島二ノ一湯島聖堂構内
株式会社 書籍文物流通会

電話(二)四六〇六(六)一七〇、一七〇一
振替 東京 二一一 六〇〇